第２回 *ADMiC* 賞 懸賞論文の募集開始

応募締切　平成 **23** 年 **7** 月 **31** 日

行政文書管理改善機構／***ADMiC*** は、***ADMiC*** 賞 懸賞論文「在るべき公文書管理の姿とは－公文書管理法の施行を記念して－」の第 **2** 回募集を、公文書管理法を所管する内閣府の後援を得て実施します。***ADMiC*** 賞 懸賞論文は、公文書管理法の公布を機に平成 **22** 年に毎年の募集継続を前提に創設されました。東北関東大震災で国や自治体の機関は大きな被害を受けましたが、再生と復興のためにもしっかりとした公文書管理は重要です。応募される方々にとって論文の執筆が可能になるまでさらに時日を要すると思われることから、公文書管理法の施行に合わせて平成 **23** 年 **4** 月 **1** 日に募集を発表しますが、締切までの期間を第 **1** 回より **1** か月延長して **7** 月 **31** 日としました。募集要項は，別紙のとおりです。

公文書は公文書管理法が述べるように、基本的に国民共有の知的資源です。公務員はもとより，すべての人々が公文書管理への関心を深めることを願って，年齢や職業，国籍を問わず，応募を呼びかけます。本論文事業には内閣府に加え，時事通信社の後援及び富士ゼロックス株式会社の協賛が予定されています。

入選者には第２回 ***ADMiC*** 賞として，１等に３０万円(１名)，２等に１０万円（２名）の副賞を贈ります。入選論文は，***ADMiC*** の **WEB** で発表するとともに，論文集にまとめ，関係機関その他に配布します。

特定非営利活動法人　行政文書管理改善機構
〒162-0856 東京都新宿区市谷甲良町2-14　Phone : 03-5225-2356　Fax : 03-5225-0250　URL : http://www.npo-bunshokanri.jp

［別紙］

募集要項

趣　　旨　公文書管理法（公文書等の管理に関する法律）は，国及び独立行政法人等を対象とした法律ですが，地方公共団体もこの法律に準拠して公文書を管理することが求められています。また，公文書管理の法制化が，広く民間組織の文書管理システムの充実にも影響することは確実で，社会一般に適正な文書管理の重要性への関心を高める必要があります。

公文書管理法では，行政機関等における現用文書の管理と国立公文書館等における非現用文書の管理について，統一的に規律しており，現用文書，すなわち行政文書（法人文書）は，一般の公務員が日常的な業務の中で管理することが原則です。

我が国は官民を通じて，文書管理への関心が低いといわれ，文書管理についても，これまで多くの問題が指摘されてきました。しかし，文書管理の在り方は，行政の透明性，効率性，政策の形成などに直接影響します。公文書管理の法制化に伴い，文書管理システムも改革されることになりますが，同時に公務員各人，ひいては国民すべての意識改革も求められます。懸賞論文「在るべき公文書管理の姿とは－公文書管理法の施行を記念して－」の目的は，公文書管理に対する意識の高揚を図ることにあります。多くの皆さんの応募を歓迎します。

ADMiC* について**　行政文書管理改善機構/ADMiC*** は，行政文書管理システムの改善支援に実績のある NPO で，理事長の廣田傳一郎教授は，文書管理の理論とそれに基づく効果的な改善指導で知られ，NPO の前身から通算して約１００の国の機関，独立行政法人等及び自治体の行政文書管理システムの改善支援をしています。また，文書管理のマニュアル作成などで，国や自治体に協力し，一方で ISO（国際標準化機構）の文書管理分野の委員として国際標準規格の策定に務めています。さらに ***ADMiC*** は毎年，行政文書管理セミナー（これまで14 回）と，全国の自治体を対象とした行政文書管理アンケート調査（これまで5 回）を実施しています。

応募資格　年齢・国籍・職業等すべて不問（公務員に限らない）。だれでも応募できます。

応募方法　電子メールで ***ADMiC*** の下記アドレスに送稿（応募論文は返却しない）。メールの添付ファイルで 1 部を送付，ハードコピーで 1 部を下記宛先に郵送してください。

E-mail：info@admic-akf.jp

〒162－0856　東京都新宿区市谷甲良町 2－14－1701

行政文書管理改善機構（論文募集担当）

テ ー マ　文書管理に関することであれば具体的なテーマは自由です。ただし，未発表の内容に限ります。

特定非営利活動法人　行政文書管理改善機構

〒162-0856 東京都新宿区市谷甲良町2-14　Phone：03-5225-2356　Fax：03-5225-0250　URL：http://www.npo-bunshokanri.jp

分　　量　使用言語は日本語とし，１万２０００字程度（図表等を含む）。

応募規定

１　原稿は電子文書に限ります。WORD 又は一太郎を使用してください。

２　書式はＡ４判横書き４０字×３０行，余白は上下左右各３０mm。フォントは MS ゴシック１１ポイント。４００字程度の要旨を添付してください。事務局で編集しますので，書式設定はしないでください。

３　応募論文はテーマとは別にタイトルをつけ，(1)表紙，(2)論文要旨，(3)論文本文（図表，参考文献含む）で構成してください。表紙ページには論題，職業などの属性（所属組織がある場合はその名称，所属部署，役職又は学校名，学部等），氏名（フリガナ），年齢，自宅住所，電話番号，メールアドレスを明記してください。入選論文を除き，これらの個人情報を公表することはありません。また，これらの個人情報は ***ADMiC*** の規程により管理し，論文審査以外に利用することはありません。入選の場合も属性，氏名，年齢以外は公表しません。

４　参考文献や引用データは出典を明記し，著作権の侵害にならないようご注意下さい。応募論文は返却いたしません。応募論文の著作権は ***ADMiC*** に帰属するものとします。入選論文は ***ADMiC*** の WEB サイトに掲載するほか，論文集に収録し発表する予定です。

募集発表　平成２３年４月１日

応募締切　平成２３年７月３１日

表　　彰　１等　１名（副賞　３０万円）
２等　２名（副賞　１０万円）

発　　表　平成２３年９月１５日（予定）。応募者全員に審査結果をメールで通知。
入選者は，***ADMiC*** の WEB サイト（ホームページ）で公表。入選論文は全文を同じホームページで公表するとともに，全文又は要旨を雑誌等に送付し，掲載を要請する。

表 彰 式　平成２３年１０月７日（予定）　東京・日本記者クラブ大ホール（予定）

審査委員会

委員長　増島　俊之　（元中央大学教授　元総務庁事務次官）
委　員　菊池　光興　（学習院大学客員教授　前国立公文書館長）
（順不同）　藤原　静雄　（中央大学法科大学院教授）
金井　利之　(東京大学大学院法学政治学研究科教授)
原田　三朗　（行政文書管理アカデミー学長　元毎日新聞論説委員）
廣田傳一郎　（駿河台大学大学院客員教授　***ADMiC*** 理事長）

問い合わせ先

〒162－0856　東京都新宿区市谷甲良町 2－14－1701
行政文書管理改善機構（論文募集担当）
電話 03－5225－2356　　E-mail：info@admic-akf.jp
URL：http:// www.admic-akf.jp/

以上